

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) タテホ化学工業株式会社

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

当社のホームページ (<http://www.tateho.co.jp>) で公開しています。

環境方針

■基本理念

タテホ化学工業グループは、環境を経営の最重要課題のひとつと位置付け、継続的改善により、事業活動のあらゆる面で負となる環境影響の低減に取り組み、地球環境に配慮した製品の提供に努め、環境保全及び汚染の予防を推進し、人と自然が調和できる社会の実現に貢献する。

■基本方針

当グループは、マグネシウム化合物及び関連製品の研究開発・製造・販売等の一貫した事業活動において、製品の製造から廃棄までの環境負荷が最小限になるように、環境汚染の予防、地球温暖化対策（気候変動の緩和策と適応策）、資源の有効利用、及び化学物質による人や環境への影響を減らすことに取り組む。また、社員一人ひとりの活動が地域及び地球規模の環境問題と深くかかわりがあることを認識し、業務に融合した環境活動を社内外で実施する。

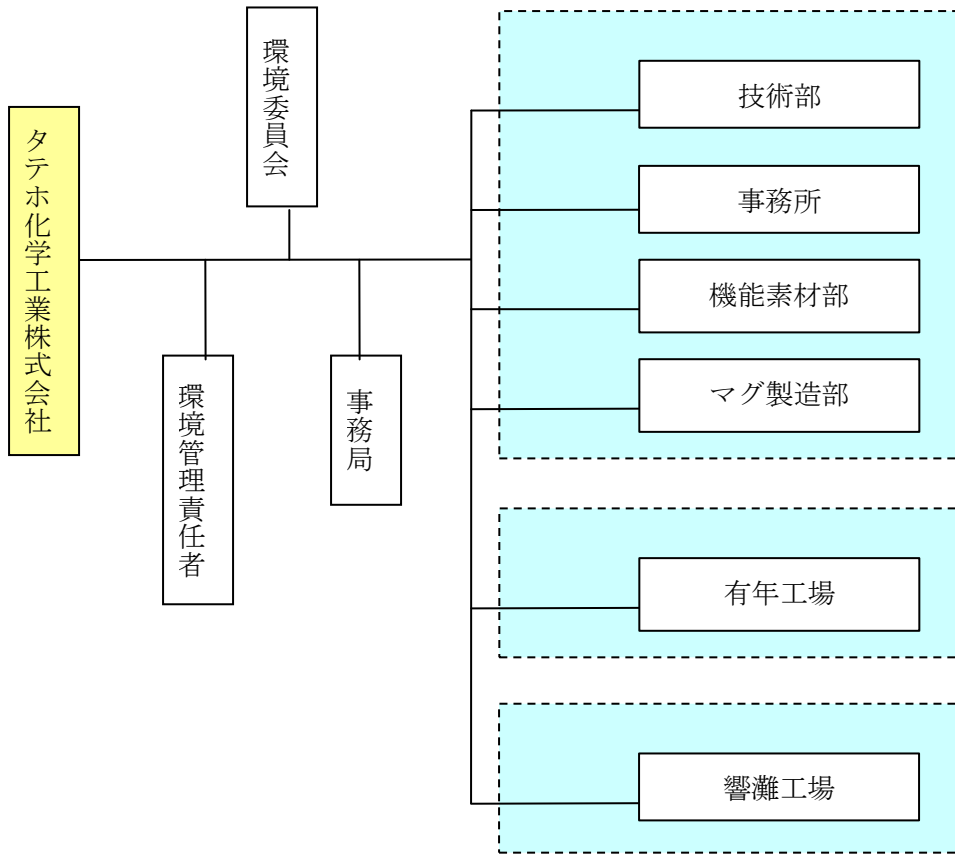
1. 環境に関する情報開示に努め、ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを通して環境、安全、品質に考慮した製品を開発及び提供することで、より良い地球環境の実現を目指す。
2. 環境方針と実施計画及び成果を社員一人ひとりに周知し、それぞれの立場で環境問題を考え「環境クオリティ」の向上に努める。また一般にも広く公開する。
3. 地域社会、その他関連団体等の活動・行事への参加・支援を通して社会貢献の輪を広げる。
4. 環境関連の法規制並びに協定書の順守、更には自主的な取り組みにより、環境負荷の継続的改善に努める。
5. 環境方針達成のため、目的・目標を設定して実行するとともに定期的な見直しを行う。

2016年4月1日



1-2 環境保全活動に関する組織体制

環境マネジメントシステムの体制



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
①法規制の順守と環境保全	①環境パトロール・内部監査を通じ法規制に該当する化学物質の適正な運用管理を実施し、環境保全活動を維持・継続した。専門業者による法定測定を実施し法規制を順守した。 ②大気、水質、騒音設備の適正な運用管理を実施し法違反ゼロ。 ③毎月の環境影響評価の臨時見直しと定期での法的及びその他の要求事項登録表の見直しを実施した。	①環境パトロール・内部監査の継続実施。専門業者並びに社内測定継続実施。 ②大気、水質、騒音設備の適正な運用管理を実施し環境事故を起こさない。 ③法的及びその他の要求事項登録表に基づく運用管理の継続実施。
①水資源管理の強化と使用量削減 ②省エネ活動の推進	①メーターを新設し水資源のマテバラ管理を推進した。製品毎の用水原単位削減目標を設定し、運用管理を開始した。 ②電気・燃料ガス原単位管理を実施した。 ③室内温度管理規定に基づく運用管理を実施し無駄な電力の削減を行った。	①水資源原単位管理の継続実施。 ②電気・燃料ガス原単位管理の継続実施。 ③冷暖房機器の適正な運用と適切な照明管理を行う。
①ゼロエミッションの継続 3R(発生抑制、再使用、再利用)の推進 ②一般廃棄物の削減	①産業廃棄物の再資源化率を99%以上と設定し、ゼロエミッションを達成した。 ②産業廃棄物の製品への移行とリサイクルを推進した。 ③一般廃棄物の分別・保管を推進した。	①ゼロエミッションの継続実施。 ②産業廃棄物の製品への移行とリサイクルの継続実施。 ③一般廃棄物の分別・保管の継続実施。
①大気汚染の防止 ②水質汚濁の防止 ③粉塵飛散の防止 ④第一種特定製品の運用管理 ⑤緊急事態への準備及び対応	①大防法設備の適正な運用管理を実施し法違反ゼロ。 ②排水処理システムの適正な運用管理を実施し法違反ゼロ。 ③粉塵飛散防止対策と集塵機の適正な運用管理を実施し外部苦情ゼロ。 ④フロン排出抑制法に基づく第一種特定製品の管理徹底。 ⑤排水のpH異常発生時の緊急対応訓練、塩酸漏洩対応訓練、高圧ガス異常事態発生時対応訓練を実施。	①大防法設備の運用管理を継続実施し法違反ゼロ。 ②排水処理システムの運用管理を継続実施し法違反ゼロ。 ③粉塵飛散防止対策と集塵機の運用管理を継続実施し法違反ゼロ。 ④第一種特定製品管理の継続実施。 ⑤休日・夜間を含む緊急事態対応訓練の実施。
①環境に配慮した製品の開発に取り組む	①環境へ貢献する重要開発テーマを実施。	①環境へ貢献する製品の開発を重要開発テーマとする。
①二酸化炭素排出量原単位を削減する	①二酸化炭素排出量原単位管理を実施し製造部門は通期原単位削減に取り組んだ。	①二酸化炭素排出量原単位管理を継続実施し、原単位を削減する。
①環境活動の情報公開 ②社会貢献活動 ③業務効率向上 ④グリーン調達の推進 ⑤ISO2015 年度版への移行推進	①環境活動のホームページを更新した他、輪番制で発行を担当する部門の特色ある環境ニュースを作成した。 ②年間を通じて佐用町との交流活動を推進した。 ③製造部門では効率の良い生産方法・方式の開発と運用を事務部門では業務の効率化を推進した。 ④EMS 取得企業からの購入比率で60%以上を達成した。 ⑤ISO2015 年度版についての情報収集を行った。	①環境に関する情報の開示に努める。 ②佐用町との交流活動を継続する。 ③製造部門での効率の良い生産方法・方式の開発と運用と事務部門での業務効率化を継続する。 ④独自のEMS 企業の認定活動を推進する。 ⑤ISO2015 年度版への移行と共にISO9001との統合を行う。
①5S 活動の実施	①行動指針に従い5S活動を継続実施した。	①行動指針に従い5S活動を継続実施する。

